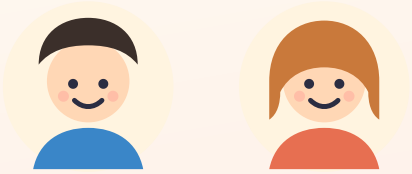
Season 4 | No.34



文楽（人形浄瑠璃）

3人が息を合わせて命をふきこむ人形劇



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 見て・ふれて・感じる
写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2 「なぜ？」を考える
行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3 「やってみよう」で体験する
答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken（ケン）
日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

文楽の世界 3〜5
語りと音 6〜7
人形をあやつる 8〜10
物語と作者 11〜12
舞台と見方 13〜15
今に伝わる文楽 16〜19
深めよう 20〜22
おさらい 23〜26
ふり返り 27〜30

Lesson 1

文楽ってなに？

文楽がどんな芸能か、まず全体像をつかもう。

文楽（ぶんらく）は、太夫（たゆう）の語り、三味線の音楽、そして人形の動きが一つになった、人形浄瑠璃（にんぎょうじょうるり）とよばれる伝統芸能です。
1体の人形を3人がかりで動かす、世界でもめずらしい人形劇として知られています。



文楽の3つの柱

太夫　三味線　人形

この3つが息を合わせることで、人形が生きているかのように動きます。

ポイント

- 文楽は、江戸時代に大阪で発展した芸能です。
- 2008年に、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。

やってみよう

1. 人形が人間のように動く様子を、想像して書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 2

文楽の歴史

文楽がどのように生まれ、育ってきたのかを知ろう。

文楽のもとになった人形浄瑠璃は、語り物の芸能「浄瑠璃」と、人形をあやつる芸能が結びついて生まれたといわれています。
江戸時代に大阪で大きく発展し、庶民の娯楽として親しまれました。



江戸時代初め

えど

浄瑠璃と人形芝居が結びつく

はじまり

江戸時代中期

えど

近松門左衛門らの作品で発展

黄金期

現代

げんだい

国立文楽劇場などで上演が続く

継承

ポイント

- 「文楽」という名前は、江戸時代末に活やくした芝居小屋「文楽座」に由来するといわれています。
- 大阪を中心に、今も大切に受けつがれています。

やってみよう

1. 「文楽」という名前の由来を、家の人に紹介してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 3

人形浄瑠璃の三業

文楽を支える3つの役割を知ろう。

三業

さんぎょう

太夫・三味線・人形遣いの3つの役割

浄瑠璃

じょうるり

三味線に合わせて物語を語る音曲

ポイント

- 3つの役割がそれぞれの技をきわめ、息を合わせることで1つの舞台がつくられます。
- どれか1つが欠けても、文楽の舞台は成り立ちません。

やってみよう

1. 3人以上で協力して1つのことを行った経験があれば、書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 4

太夫の語り

1人で物語を語りきる、太夫の役割を知ろう。

太夫（たゆう）は、物語の地の文からすべての登場人物のせりふまで、1人で語り分ける役割です。
声の高さや調子を変えることで、老若男女さまざまな人物を表現します。



ポイント

- 太夫は、感情の高まりに合わせて、声を大きくふるわせることもあります。
- 1つの舞台をひとりで語りきるため、長い修行が必要です。

やってみよう

1. 1人で何役も演じ分けるとしたら、どんな工夫が必要だと思いますか。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 5

三味線

文楽の音楽を支える三味線の役割を知ろう。

文楽の三味線

文楽で使われるのは「太棹（ふとざお）」とよばれる、太くて低い音が出る三味線です。

太夫の語りに合わせて、感情の動きや場面の雰囲気を音で表現します。

ポイント

- 三味線は、せりふのないところでも、場面の空気をつくる大切な役割を持っています。
- 太夫と三味線の息が合うことで、物語に迫力が生まれます。

やってみよう

1. 三味線の音を聴いたことがあれば、どんな印象だったか書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 6

人形遣い

人形を動かす人形遣いの役割を知ろう。

人形遣い

にんぎょうづかい

人形を動かす役割の人

出遣い

でづかい

顔を隠さずに人形を操作すること

ポイント

- 人形遣いは、人形の動きだけで、喜怒哀楽を表現します。
- 主遣いは顔を隠さない「出遣い」で舞台に立つのも、文楽の大きな特徴です。

やってみよう

1. 顔が見えたまま人形を動かす方法に、どんな利点があると思いますか。

書いて覚えよう

Lesson 7

三人遣い

1体の人形を3人で操作するしくみを知ろう。

主遣い

頭と右手を動かす、いちばん経験を積んだ人

左遣い

人形の左手を動かす役割

足遣い

人形の足を動かす役割

息を合わせる

3人の呼吸がそろって、人形が自然に動く

長い修行

足遣いから始めて主遣いになるまで長い年月がかかる

黒衣

目立たない黒い衣装で操作する人もいる

ポイント

- 1体の人形を3人で操作する「三人遣い」は、文楽ならではのしくみです。
- 3人の息が合わないと、人形の動きがぎこちなくなってしまいます。

やってみよう

1. この中で、いちばん難しそうだと思う役割はどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
8-9

人形のしくみ・人形の顔（かしら）

文楽人形の構造と、表情のしかけを知ろう。

人形のしくみ

文楽人形の頭（かしら）の中には、糸やてこのしかけが入っていて、目や眉、口を動かせるものもあります。

喜怒哀楽を表すために、細かい部品が組み込まれています。

ポイント

- かしらの種類は役柄ごとに決まっていて、同じかしらを別の演目で使い回すこともあります。
- 職人によって、1つひとつていねいに作られています。

やってみよう

1. まぶたや口が動く人形の頭を、想像して絵に描いてみよう。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 10

近松門左衛門

文楽を代表する作者について知ろう。

近松門左衛門（ちかまつもんざえもん）は、江戸時代に活やくした文楽の代表的な作者です。
恋愛や義理と人情の板ばさみをえがいた作品で、大きな人気を集めました。



ポイント

- 代表作に「曽根崎心中（そねざきしんじゅう）」などがあります。
- 近松の作品は、現代でも歌舞伎や文楽で上演され続けています。

やってみよう

1. 「義理と人情の板ばさみ」という言葉の意味を考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 11

有名な演目

代表的な文楽の演目にふれてみよう。

曽根崎心中

恋人たちの悲しい物語をえがく近松の代表作

仮名手本忠臣蔵

主君の敵討ちをえがく人気演目

菅原伝授手習鑑

学問の神様にまつわる物語

義経千本桜

源義経をめぐる伝説的な物語

国性爺合戦

日中を舞台にした冒険物語

伊達娘恋緋鹿子

恋する娘の情熱をえがく演目

ポイント

- 文楽の演目の多くは、後に歌舞伎でも上演されるようになりました。
- 歴史上の出来事や実際の事件をもとにした作品もあります。

やってみよう

1. この中で、あらすじを読んでみたい演目を1つえらぼう。 _____

書いて覚えよう

Lesson 12

文楽の舞台

文楽ならではの舞台のつくりを知ろう。

文楽の舞台の特徴

船底　手すり　床（ゆか）

人形遣いの足もとが低くなった「船底」という舞台や、太夫・三味線が座る「床」があります。

ポイント

- 舞台の高さや仕切りは、人形が生きているように見えるよう工夫されています。
- 太夫と三味線は、舞台わきの「床」とよばれる場所で演奏します。

やってみよう

1. 文楽の舞台の写真を見て、人形遣いの足もとに注目してみよう。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 13

文楽の見方

文楽を見るときのポイントを知ろう。

ポイント

- 物語のあらすじを先に読んでおくと、太夫の語りが分かりやすくなります。
- 人形の細かい動きや表情の変化に注目すると、より深く楽しめます。
- 太夫・三味線・人形遣いの息の合い方も、見どころの1つです。

やってみよう

1. 文楽の映像を見て、印象に残った人形の動きを書いてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
14-15

大阪と文楽・文楽劇場に行こう

文楽と大阪の関わりや、見に行ける場所を知ろう。

文楽は、江戸時代から大阪で育まれてきた芸能で、今も大阪に国立文楽劇場があります。
東京の国立劇場でも、定期的に文楽が上演されています。



ポイント

- 大阪は、文楽にとって特別な土地であり、今も多くの公演が行われています。
- 劇場によっては、初心者向けの解説イヤホンガイドが用意されています。

やってみよう

1. 近くで文楽を見られる劇場や機会がないか、調べてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 16

地域の人形芝居

各地に伝わる人形芝居との関わりを知ろう。

各地に伝わる人形芝居

淡路人形浄瑠璃　各地の郷土人形芝居

兵庫県の淡路島など、日本各地に文楽と関わりの深い人形芝居が受けつがれています。

ポイント

- 地域ごとの人形芝居には、その土地ならではの工夫や特色があります。
- 保存会などによって、地域の人形芝居が大切に受けつがれています。

やってみよう

1. 自分の住む地域に、伝統的な人形芝居や芸能が残っていないか調べてみよう。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 17

人形の表情の工夫

人形が表情を見せる工夫を知ろう。

ポイント

- 人形遣いは、頭や体をわずかに傾けるだけで、悲しみやおどろきを表現します。
- かしらのしかけと人形遣いの動きが合わさって、豊かな表情が生まれます。
- 静かな動きの中にも、人形の気持ちが込められています。

やってみよう

1. 言葉を使わずに、体の動きだけで気持ちを表す方法を考えてみよう。

書いて覚えよう

一般社団法人文化芸術支援協会｜文楽（人形浄瑠璃）　個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 18

文楽のことば

文楽でよく使われる言葉を知ろう。

床本
ゆかほん

太夫が語りに使う台本

出遣い
でづかい

顔を隠さずに人形を操作すること

黒衣
くろご

人形遣いが目立たないように着る黒い衣装

ポイント

- 文楽には、他の芸能にはない独自の言葉がたくさんあります。
- 言葉を覚えると、舞台の見どころがより分かりやすくなります。

やってみよう

1. 「出遣い」ということばを使って、短い文を作ってみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 19

文楽の魅力

文楽ならではの魅力について、考えを深めよう。

文楽の魅力は、太夫・三味線・人形遣いという3つの技が1つに重なり合うところにあります。
人ではない人形が、まるで生きているかのように感情を表すところに、多くの人が心を動かされます。



ポイント

- 1体の人形を3人で動かすという発想自体が、世界でも珍しいものです。
- 何百年も受けつがれてきた技の積み重ねが、今の舞台を支えています。

やってみよう

1. 文楽の魅力を、友だちに一言で伝えるとしたら、どう言いますか。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

写真や実物を見てみよう

写真や映像で、文楽の世界にふれてみよう。

やってみよう

1. 文楽人形の頭（かしら）や衣装の写真を、図書館の本やインターネットでさがしてみよう。
2. 三人遣いの写真を見て、3人がどのように人形を支えているか観察しよう。
3. できれば、文楽劇場や資料館で本物の人形を見てみよう。

ポイント

- 写真からも、人形の表情の細やかさが伝わってきます。
- 資料館では、実際に使われた人形が展示されていることがあります。

ワンポイント 地域の伝統芸能館でも、人形浄瑠璃の資料が見られることがあります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
21-22

体験してみよう・由来と意味をおさらい

文楽を体で感じ、これまでの由来を振り返ろう。

やってみよう

1. ぬいぐるみや人形を、頭・両手・足のイメージで動かしてみよう。
2. 太夫になったつもりで、短い物語を声色を変えて読んでみよう。

由来をおさらい

文楽は、太夫の語り・三味線・人形が一体となった、江戸時代に大阪で発展した人形浄瑠璃です。

400年近い歴史を経て、今も大切に受けつがれています。

ポイント

- 体験してみると、3人で息を合わせることの難しさが実感できます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
23-24

地域によるちがい・昔と今をくらべよう

文楽の地域差や、時代による変化を知ろう。

地域によるちがい

大阪の文楽と各地の人形芝居

大阪の文楽
国立文楽劇場を中心に伝わる

淡路など各地の人形芝居
地域ごとの特色がある

昔と今

変わったこと・変わらないこと

昔は庶民の娯楽の中心
今は伝統芸能として大切に上演される

三人遣いのしくみ
昔から変わらず受けつがれている

ポイント

- 地域によって、伝わる人形芝居の形や演目に個性があります。
- 時代が変わっても、3人で1体を操る文楽の形は変わっていません。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 25

よくある疑問

文楽についての素朴な疑問に答えよう。

Emma
人形を3人で動かすなんて、むずかしくないのかな？



Ken
長い修行が必要なんだって。足遣いから始めて、少しずつ役割を上げていくんだよ。

Emma
太夫さんは、全部の役を1人で話すの？



Ken
そうだよ。声の高さや調子を変えて、何人もの人物を語り分けるんだ。

ポイント

- 分からない言葉があっても、人形の動きや音楽から物語の雰囲気を感じ取れます。
- 疑問に思ったことを調べると、文楽への理解がさらに深まります。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

マナーと注意点

文楽を見に行くときのマナーを知ろう。

ポイント

- 上演中は静かに鑑賞し、拍手のタイミングは周りに合わせましょう。
- 写真や動画の撮影は禁止されていることがほとんどです。
- 会場によっては、あらすじや床本の解説資料が配られることがあります。

ワンポイント 初めて見るときは、あらすじを簡単に予習しておくと、より楽しめます。

書いて覚えよう

Lesson 27

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

役割の言葉

- ☐ **太夫**
  物語を語る役割
- ☐ **三味線**
  音楽を担当する役割
- ☐ **人形遣い**
  人形を動かす役割

人形の言葉

- ☐ **かしら**
  人形の頭の部分
- ☐ **出遣い**
  顔を隠さない人形遣い
- ☐ **三人遣い**
  1体を3人で操作すること

舞台の言葉

- ☐ **床**
  太夫・三味線がいる場所
- ☐ **船底**
  人形遣いの足もとが低い舞台
- ☐ **床本**
  語りに使う台本

作品の言葉

- ☐ **浄瑠璃**
  三味線に合わせて語る音曲
- ☐ **近松門左衛門**
  代表的な作者
- ☐ **曽根崎心中**
  代表的な演目

書いて覚えよう

Lesson 28

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

太夫	●	● ア. 人形を動かす役割
三味線	●	● イ. 人形の頭の部分
人形遣い	●	● ウ. 顔を隠さない人形遣い
かしら	●	● エ. 音楽を担当する役割
出遣い	●	● オ. 物語を語る役割

2. 1体の人形を何人で操作する？

1. _____

3. 文楽の代表的な作者の名前を書こう

1. _____

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 29-30

ふり返りチェック・家族や友だちに話してみよう

学んだことを確認し、人に伝えてみよう。

☐	文楽がどんな芸能か説明できる	太夫・三味線・人形の3つ
☐	三人遣いのしくみを言える	主遣い・左遣い・足遣い
☐	近松門左衛門について説明できる	代表的な作者
☐	有名な演目を1つ紹介できる	曽根崎心中など
☐	文楽のことばを3つ言える	用語の力

やってみよう

1. 文楽について、家族や友だちに説明してみよう。うまく伝わったか、感想を書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
31-32

英語で紹介してみよう・もっと知りたい人へ

文楽を英語で紹介し、次の学びにつなげよう。

Bunraku
ブンラク
日本の伝統的な人形劇

puppet
パペット
操り人形

英語で説明してみよう

Bunraku is a traditional Japanese puppet theater performed by three puppeteers.（文楽は、3人の人形遣いによって演じられる日本の伝統的な人形劇です。）

もっと知りたい人へ

文楽劇場の公演　近松門左衛門の作品　人形の写真集

図書館や劇場の公演情報から、さらに学びを広げてみましょう。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 文楽とは、どんなものですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 印象に残った演目や場面はどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから挑戦してみたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

文楽ミッションカード

MISSION 1
人形を頭・両手・足に見立てて動かしてみる

MISSION 2
声色を変えて短い物語を読んでみる

MISSION 3
家族に文楽について話す

MISSION 4
文楽劇場や公演の情報を調べる

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 34

文楽（人形浄瑠璃）チャレンジ

教室の外でも、文楽の世界にふれてみよう。

見つけよう

近くで文楽を見られる劇場や公演を調べる

聴こう

太夫の語りや三味線の音源を聴いてみる

伝えよう

文楽の魅力をだれかに話してみる

こたえ

L28 太夫→オ 三味線→エ 人形遣い→ア かしら→イ 出遣い→ウ
2. 3人　3. 近松門左衛門

L33 （例）文楽は、太夫・三味線・人形が一体となった人形浄瑠璃。

書いて覚えよう

文楽（人形浄瑠璃）（Season 4 ｜ No.34）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。